

平成29年度（2017年度）

# 事業実施報告



新潟県立環境と人間のふれあい館  
－新潟水俣病資料館－

## ご 挨拶

新潟県では平成27年5月31日「新潟水俣病公式確認50年式典」を開催しました。

この年度の当館入館者は、前年、前々年の事業が報道関係の方々の取材等で盛り上がりをもせ、開館以来の悲願であった入館者4万人の大台を超え、4万人超えが3年続いたことから職員一同喜んでいました。翌28年度は、残念ながら4万人の大台を確保出来ませんでしたと前回のこの「ご挨拶」に書きましたが、それでも歴代の入館者数の5位ではありました。

ところが、29年度の入館者は開館以来最低の31,553人になりました。原因についてはいろいろ考えられますが、大きな要因としては天候の不順を挙げることが出来ると思います。二つには、学生、特に高校生の入館者が大幅に減少したことが挙げられると思います。天候不順については、人の力ではいかんともし難いわけですが、高校への働きかけはやればやるだけ効果は上がるかと思っておりますので、今年度はここに力を注ぎたいと思っております。

ここで、今まで取り上げてこなかった子ども向けの「夏休み工作教室 利再来（リサイクル）」と、「クリスマス工作 世界で一つのXmasリースを作ろう」について紹介したいと思います。

夏休み工作教室が当館の事業として始まったのは平成15年度からです。工作はトルネード、プラトンボ、PETカーといったものでしたが、現在では万華鏡（スコープ、水のり）、貝がら風鈴とスライムなどが加わり全部で8種類となっています。また、平成17年度からはクリスマス工作を始めて現在に至っています。

水俣病資料館でありながら何故、子どもたちに向けたプログラムを行っているかについて、当館としては未就学児童であっても、やがて学校へ入学するだろう。その時に、昔お母さんと、お父さんとここに来たことがあるということをお出ししていただければそれで良いと思っております。水俣病は苦しいこと、悲しいこともあります。子どもたちにとってこの資料館に対しては、楽しい思い出をもって欲しいと思っております。

そのような子どもからは以下のような感想文が寄せられています。

山田さんへ（当館の案内説明員）

ふれあい館へ私は1回行ったことがありました。でもそのときは、ようちえんでした。そのときはあんまり見てなくて、そしてきょう行ってよく見るとすごいなあと思ったことは、水のクイズや字がこまかく書いてあって読みやすかったです。

そして水俣病になった人は、まだ薬が見つからないから、まだつらいびょうきとたたかっているんだ！わたしは、心の所でつらいおもいもしているんだと思いました。（以下続く）

本稿の最初に入館者の問題を記しましたが、皆様からのご提案などがございましたら、是非お教え願いたく思います。

2018年（平成30）年3月

新潟県立環境と人間のふれあい館  
—新潟水俣病資料館—  
館長 塚田 眞 弘

# 目 次

## I 新潟県立環境と人間のふれあい館 - 新潟水俣病資料館 - の概要

1	新潟県立環境と人間のふれあい館 - 新潟水俣病資料館 - の目的	1
2	事業体系	1
3	施設の概要	2
4	事業推進体制	3

## II 平成29年度 事業報告

1	施設の利用状況	4
2	展示学習及び教育・啓発推進事業	5
3	資料整備促進事業	13
4	アーカイブス事業	14

## III 平成29年度 利用実績

1	月別来館者数	15
2	視聴覚利用数	15
3	学校利用実績	16
4	団体利用実績	19

[参考]	来館された児童・生徒などの感想	21
------	-----------------	----

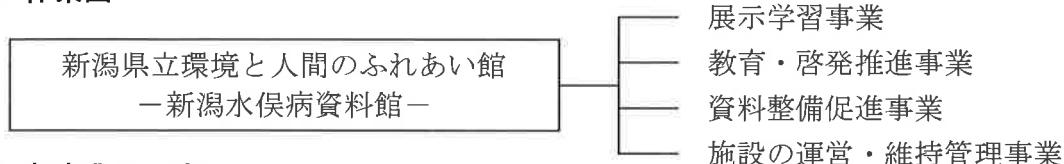
# I 新潟県立環境と人間のふれあい館－新潟水俣病資料館－の概要

## 1 新潟県立環境と人間のふれあい館－新潟水俣病資料館－の目的

新潟水俣病という公害を経験した県として、その経験と教訓を生かし二度と同じような公害を発生させてはならないということの後世に伝え、水の視点から環境を大切にする意識を育むとともに、新潟水俣病に関する情報の発信、提供に努めることにより、公害の根絶と環境保全の重要性を啓発する。

## 2 事業体系

### (1) 体系図



### (2) 各事業の内容

#### ア 展示学習及び教育・啓発推進事業

新潟水俣病についての理解を深めるとともに、水の視点から環境の大切さなどを啓発するため、下記の事業を重点的に行いました。また、常設展示物や実験等での体験を通して参加体験型施設としての機能の充実を図るとともに、利用者に対するサービスの充実と効率的な管理運営に努めました。

平成29年度においては、患者や関係者等を講師に招いた講演会及び写真パネル展・映像上映会の開催、教育機関と連携した講習会や講座の開催、新潟水俣病に関する研究の支援等を行うとともに、教育用資料等の印刷物を作成・発行しました。

- ・新潟水俣病学習、人権・環境教育での活用、学習支援
- ・新潟水俣病患者による「語り部」口演の実施
- ・水俣病発生地域間交流事業の実施（熊本県水俣市）
- ・小学校中学校への地域の環境学習等支援事業の実施
- ・環境学習等支援事業全体発表会（県内小中学校対象）の開催
- ・新潟水俣病講演会、講習会、写真展・映像上映会の開催
- ・大学と連携した新潟水俣病に関する普及・啓発活動及び研究及び講義等の支援
- ・水俣病経験の普及啓発セミナー（環境省主催）への協力及び講演
- ・公害資料館ネットワークの参加及び公害資料館連携フォーラムの出席
- ・教師用指導資料「現場から学ぶ新潟水俣病～教訓を語り継ぐ～」（新潟水俣病パンフレット）の作成
- ・小中学生の新潟水俣病学習の記録DVD「未来を見つめる旅～新潟水俣病から学ぶ人と環境のあした～」の作成
- ・夏休み子ども工作「利再来」、クリスマス工作講習会の実施
- ・ホームページ、メールマガジン、ツイッターなどを利用した情報発信、広報
- ・幼児・児童を対象とした「キッズクラブ」の運営
- ・公害資料館パンフレット配布、パネル紹介コーナーの設置

## イ 資料整備促進事業

新潟水俣病に関する資料等の収集を行い、分散化の抑止と整備保管に努めました。

## ウ 施設の運営・維持管理事業

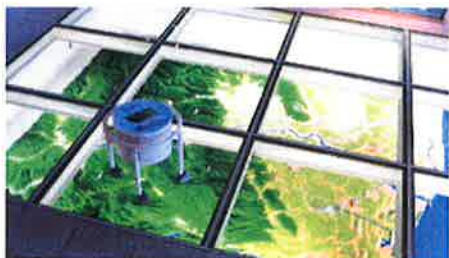
館の事業活動（常設展示、普及啓発、資料収集）の効率的な運営と定着を図るとともに、外壁塗装工事など施設の安全かつ快適な維持管理に努めました。また、管理運営協議会における意見を反映させて、円滑でより良い施設運営を目指しました。

## 3 施設の概要

### (1) 展示エリア（常設展示）

#### ア 水辺のいきものと阿賀野川の暮らし

川の中をイメージした空間で、水辺にすむ生き物たちの宝庫となっている阿賀野川の風景や歴史を紹介しています。また、阿賀野川流域ジオラマとパソコンの組合せによる関連地点の説明や、水俣病発生当時の流域の生活や教訓を幻想的な空間の中で感じ取ることができます。



「阿賀野川スコープ」



「阿賀野川シアター」

#### イ 新潟水俣病

新潟水俣病の歴史や教訓・経験を、パネル展示と映像・資料で紹介しています。

また、公害を発生させないためにはどうすればよいのかを考えるきっかけとなるような情報を提供しています。



「歴史年表グラフィック」



#### ウ 水とわたしたちの生活

生活や環境の視点から水の大切さを紹介しています。また、環境クイズや水力水質浄化装置など、自ら体験しながら楽しく学習することができます。



「人間の活動と環境の関わり展示」



## (2) 研修室

映像「新潟水俣病」及びアニメーション「新潟水俣病と阿賀野川が教えてくれたもの」を上映して、新潟水俣病の経験と教訓を伝えています。また、講演会などの企画事業を行っています。

最大利用定員：100人（椅子のみ使用の場合）

設備：100インチスクリーン&プロジェクター(DVD、PC対応)



## (3) 多目的室

各種団体の小会議や学習の場として利用できます。

最大利用定員：10人



## (4) 図書室

水俣病や環境に関する図書及びビデオ・DVDソフト等を収蔵し、閲覧や視聴が可能です。また、パソコンを利用して当館ホームページから水俣病に関する資料の検索や情報をご覧いただけます。

書籍：2,115冊、VTR：356本、マイクロフィルム（戦後日本公害事件史料集成）75巻

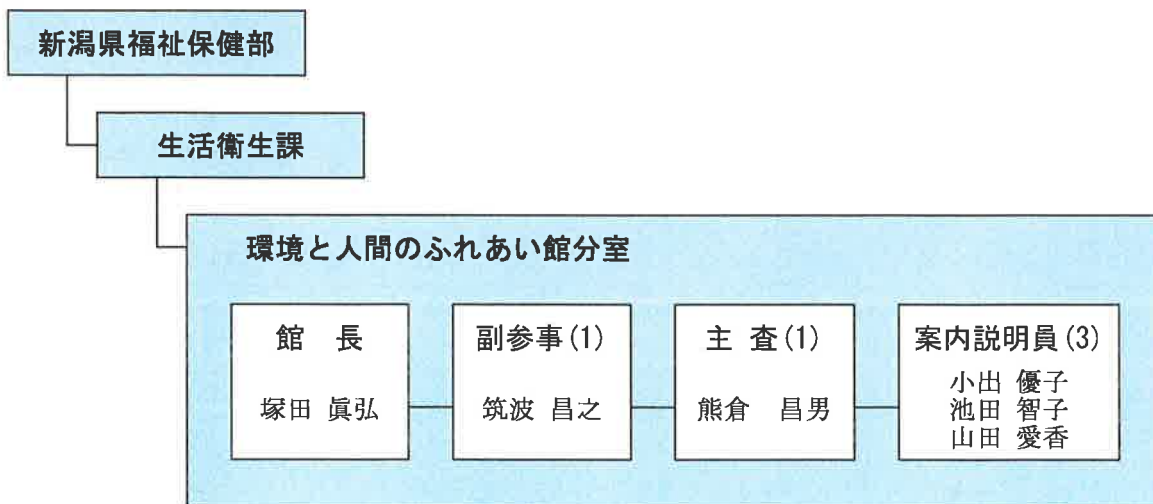


## (5) ホール

明るい吹抜けのアメニティ空間で、年間を通じ写真パネル展や夏休みこども工作などを開催しています。各地の公害資料館のパンフレットを一堂に集めたコーナーも設置しています。



## 4 事業推進体制



## Ⅱ 平成29年度 事業報告

### 1 施設の利用状況

#### (1) 来館者

平成29年度の来館者数は31,553人でした。平成13年8月の開館からの累計来館者は623,348人となりました。

#### (2) 学校等及び団体の利用状況

平成29年度の団体利用の状況は、学校関係は98校（4,887人）、教育関係団体21団体（344人）、その他41団体（1,044人）で、計160団体（6,275人）が利用しました。

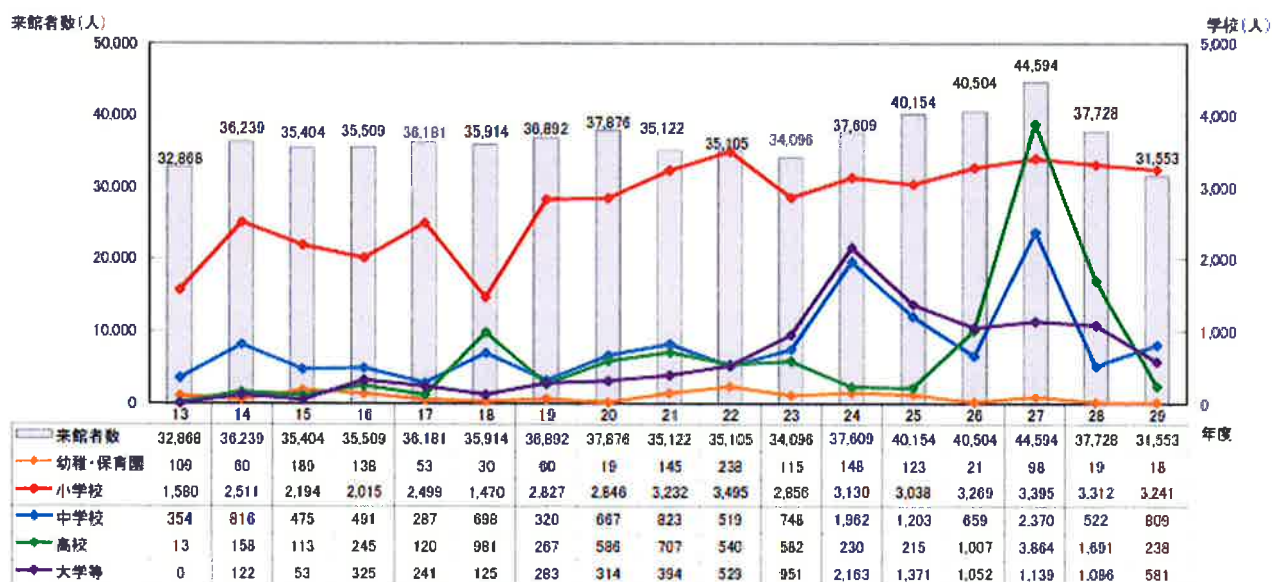
#### 《学校利用状況》

年度	合計		幼・保育園		小学校		中学校		高等学校		大学等	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
29	98	4,887	1	18	66	3,241	8	809	5	238	18	581
28	112	6,630	1	19	67	3,312	12	522	8	1,691	24	1,086
27	129	10,866	2	98	70	3,395	20	2,370	10	3,864	27	1,139

#### 《団体利用状況》

年度	合計		教育関係団体										その他団体	
			小学校教員		中学校教員		高等学校教員		教育委員会等		計			
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
29	62	1,388	16	273	3	46	1	12	1	13	21	344	41	1,044
28	72	2,191	25	464	9	120	1	48	2	75	37	707	35	1,484
27	58	1,576	21	463	3	26	3	260	5	232	32	981	26	595

#### [参考] 《年度別 来館者数・学校利用状況の推移》



※平成13年度は、開館日の平成13年8月1日から平成14年3月31日までの集計。

## 2 展示学習及び教育・啓発推進事業

### (1) 語り部口演

新潟水俣病の歴史や現状を正しく伝え、差別・偏見の解消及び環境の大切さを伝えるために、語り部による口演を98回（4,423人）行いました。

口演回数を対象別にみると、小学校51回、中学校6回、高校3回、大学等9回、教員13回、その他16回となっています。

#### 《平成29年度 語り部別口演実績》

語り部	合計		館内		出張		学校・団体等対象別語り部回数					
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	小学校	中学校	高校	大学等	教員	その他
小武 節子	17	735	15	500	2	235	7	1		3	2	4
山崎 昭正	20	1,226	18	705	2	521	11	3		3	1	2
山田 サチ子	16	712	14	553	2	159	9	2		2	2	1
立川 小三郎	1	80			1	80						1
小町 ゆみ子	15	751	14	618	1	133	9		1		3	2
稲垣 シズエ	12	340	12	340			6		2		1	3
曾我 浩	15	558	14	518	1	40	9				3	3
(語り部DVD)	2	21	2	21							1	
合計	98	4,423	89	3,255	9	1,168	51	6	3	9	13	16

※「館内」：環境と人間のふれあい館内で行った口演、「出張」：館外で行った口演

#### 《年度別 語り部口演実績》

年度	合計		館内		出張	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
29年度	98	4,423	89	3,255	9	1,168
28年度	115	5,089	96	3,648	19	1,441
27年度	112	6,355	100	3,944	12	2,411

#### ○ 新潟水俣病の経験と教訓について口演する語り部のみなさん



小武 節子さん



山崎 昭正さん



山田 サチ子さん



立川 小三郎さん



小町 ゆみ子さん



稲垣 シズエさん



曾我 浩さん



## (2) 新潟水俣病の学習

映像「新潟水俣病」やアニメーション「新潟水俣病と阿賀野川が教えてくれたもの」（新潟県作成）を学校、団体及び一般来館者を対象に140回（4,204人）上映し、水俣病の発生から現在に至るまでの歴史や被害者の苦しみ、水環境の大切さなどを広く伝えました。

また、来館の際に理解をより深くするため、小・中学校等での事前学習を勧めており、これらの映像を貸出しました。

	合計	学校					団体			一般
		小学校	中学校	高校	大学等	小計	教員等	その他	小計	
上映回数	140	49	7	3	13	72	14	23	37	31
視聴団体数	99	40	6	3	8	57	19	23	42	-
視聴者人数	4,204	3,276					681			247

※映像の貸出は含まない。

## (3) 水環境の学習

水の大切さ及び環境保全について説明しました。

水の環境を学習するために、CODパックテストによる水質実験を行いました。

実験名	回数	参加者数
CODパックテスト	130回	551人



## (4) 水俣病経験の普及啓発セミナー

開催日：平成30年1月13日

研修地：東京ウィメンズプラザ・ホール（東京都渋谷区神宮前5-53-67）

内 容：「水俣病の経験を引き継ぐために」（環境省主催）に参加し、研修を行いました。

《セミナーの詳細》

- ・「水銀に関する水俣条約の実施に向けて」 環境省環境保健部特殊疾病対策室
- ・「語り部講話」 小武節子氏（新潟県立環境と人間のふれあい館語り部）  
杉本肇氏（水俣市立水俣病資料館語り部）
- ・「音楽演奏」 もやい音楽祭受賞作品
- ・「朗読」 水俣病を語り継ぐ会
- ・パネルディスカッション 「水俣病の経験を引き継ぐために」  
コーディネーター 吉永利夫氏  
パネリスト 杉本肇氏 徳富一敏氏 岩井美咲氏
- ・主催 環境省

## (5) 各種企画事業の開催

### ア 新潟水俣病写真展

#### 「新潟水俣病の半世紀」

第1部 開催期間：平成29年4月8日～5月14日

第2部 開催期間：平成29年5月16日～6月4日

入館者数：第1部 4,194人（期間中）

第2部 1,009人（期間中）



### イ ゴールデンウィーク企画講演会

#### 「この半世紀 水俣病事件で何を見 何を考え どう動いたか ～あらたな展開につなげるために～」

開催日：平成29年5月5日

講師：坂東 克彦氏（弁護士）

聴講者数：130人



### ウ 「公害とたたかうー新潟水俣病ー」映画上映会

開催期間：平成29年5月3日～5月7日

視聴者数：35人



### エ 映画「阿賀に生きる」完成25周年

#### 「あの時とこれからを見つめて」展

開催期間：平成29年6月11日～7月9日

入館者数：2,589人（期間中）

#### ○会場案内ツアー

開催日：平成29年6月18日、7月9日

参加者：11人

#### ○映画上映会

開催日：平成29年7月1日、2日

参加者：28人



### オ 開館16周年記念講演会

開催日：平成29年7月23日

#### ○基調講演「イタイイタイ病～被害発生から今日まで～」

講師：鏡森 定信氏

（富山県立イタイイタイ病資料館館長）

#### ○パネルトーク「イタイイタイ病と新潟水俣病

～公害病を伝えるということ～

コーディネーター：中川 一好氏

（新潟日報社論説編集委員）



出演者：鏡森 定信氏（富山県立イタイイタイ病資料館館長）  
小松 雅子氏（富山県立イタイイタイ病資料館語り部）  
小武 節子氏（新潟県立環境と人間のふれあい館語り部）  
塚田 眞弘（新潟県立環境と人間のふれあい館館長）

聴講者数：50人

#### カ 「イタイイタイ病に学ぶ

～よみがえった美しい水と豊かな大地～」映画上映会

開催日：平成29年7月23日 視聴者数：8人



#### キ 『イタイイタイ病を伝える』写真パネル展

開催期間：平成29年7月12日～7月23日

入館者数：1,064人（期間中）

#### ク 水俣病発生地域間交流事業（第12回）

開催期間：平成29年8月2日～8月4日

（新潟県）新潟市立鳥屋野小学校  
新潟市立新津第二小学校  
阿賀野市立水原小学校

（水俣市）水俣市立水東小学校  
水俣市立袋小学校  
水俣市立葛渡小学校

参加者数：6校、児童24人、教員6人 計30人

（新潟県）児童12人、教員3人 計15人

（水俣市）児童12人、教員3人 計15人

事業内容：

○水俣病に関する学習、現地見学

- ・水俣市立水俣病資料館、百間排水口、エコパーク水俣、慰霊碑などの見学・学習

○現地体験学習

- ・ほっとはうすで胎児性水俣病患者さんとの交流、施設見学
- ・ものづくり体験

○新潟と水俣の児童の交流

- ・交流事業での水俣病学習や体験活動を通じて学んだことについて意見交換、グループ学習発表会



水俣市立水俣病資料館



ほっとはうす



グループ学習発表会

## ケ 阿賀野川写真パネル展

「写真で旅する 阿賀野川流域の今と昔 光と影」

開催期間：平成29年9月6日～10月1日

入館者数：3,313人（期間中）



## コ フィールドミュージアム事業パネル展

「貴重な写真でたどる 阿賀野川上流域を巡る近代産業の変遷

明治・大正・昭和～近代日本がたどった光と影の縮図」

開催期間：平成29年10月4日～10月31日

入館者数：2,074人（期間中）



## サ 新潟水俣病講座（大学と連携・協力した講座の開催）

○協力大学：新潟県立大学

開催日：平成29年5月18日

講師：環境と人間のふれあい館語り部

参加者数：155人



○協力大学：新潟産業大学

開催日：平成29年5月31日

講師：環境と人間のふれあい館館長

参加者数：30人

○協力大学：新潟大学理学部

開催日：平成29年5月31日

講師：環境と人間のふれあい館語り部

参加者数：42人



○協力大学：新潟大学グローバル教育センター

開催日：平成29年6月25日、8月26日

講師：環境と人間のふれあい館語り部

環境と人間のふれあい館職員

参加者数：32人



○協力大学：新潟大学人文学部

開催日：平成29年10月17日

講師：環境と人間のふれあい館館長

参加者数：20人

○協力大学：新潟医療福祉大学

開催日：平成29年11月2日

講師：環境と人間のふれあい館館長

参加者数：145人



## シ 水俣病講演会

開催日：平成29年11月26日

会場：ラマダホテル新潟

テーマ：「いま、水俣病を考える

～私たちができること、すべきこと～

講演：「今、水俣から伝えたいこと

～胎児性患者等の挑戦とほっとはうす」

講師：加藤 タケ子氏

(社会福祉法人さかえの社代表理事・統括施設長 ほっとはうす、おるげ・のあ)

報告：子どもたちからの報告

「熊本県水俣市を訪ねて～水俣病発生地域間交流の報告」

交流事業参加児童3名（県内小学校5年生）

事例報告

「水俣病教育・啓発における『伝える』取り組み」

報告者 渡邊 敏文氏（新潟医療福祉大学教授）

和泉 哲章氏（新潟市立南浜中学校校長）

吉川 恒夫氏（阿賀野市立水原小学校教諭）

坂詰 明広氏（新潟県医療ソーシャルワーカー協会会長）

コメンテーター

加藤 タケ子氏（社会福祉法人さかえの社代表理事・統括施設長）

塚田 眞弘（環境と人間のふれあい館館長）

聴講者数：80人



## ス 野鳥写真と愛鳥週間ポスター原画作品展

開催期間：平成29年12月20日～平成30年1月20日

内容：県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里所蔵の野鳥写真展入賞作品及び愛鳥週間用ポスター原画新潟県大会の入選作品を展示

入館者数：948人（期間中）



## セ あがのがわ写真展

開催期間：平成30年1月25日～2月16日

入館者数：650人（期間中）



### ソ 子どもたちがみた新潟水俣病パネル展

開催期間：平成30年2月20日～3月30日

内 容：小・中学生の新潟水俣病学習の取組  
や作文コンクール入賞作品、語り部  
を聴いての感想等のパネルを展示

入館者数：2,469人（期間中）



### タ 阿賀野川エコミュージアムを目指す流域再生フォーラム 「流域再生・光と影の宝ものがたり」

開催日：平成30年3月25日

内 容：流域再生の4テーマ「食」「歴史」「公害」  
「次世代」について公開講座を行った。

講師：一般社団法人あがのがわ環境学舎職員  
佐々木 暢氏（筑波大学大学院卒）  
本間 修一氏（北宝隊代表）

参加者：70人



### チ 環境と人間のふれあい館キッズクラブ

会員数：95名

実施内容：バースデーカードを郵送  
イベント情報を郵送

## (6) 環境の学習と福島潟関連施設との連携

水環境問題や環境にやさしい行動を考える機会を提供するため、身近なものをリサイクル活用した夏休み子ども工作教室、クリスマス工作の事業を行いました。また、福島潟自然文化祭の参加などにより、福島潟関連施設と連携した事業を行いました。

### ア 夏休み工作教室「利再来（リサイクル）」

工作名	回数(回)	参加者数(人)
のぼるくん	4	70
ロケット棒	6	99
水のり万華鏡	6	146
貝がら風鈴	6	182
スライム	6	155
かざぐるま万華鏡	4	109
スコープ万華鏡	4	117
浮沈子	6	119
アメリカンクラッカー	4	56
合計	46	1,053



## イ クリスマス工作「世界で一つのXmasリースを作ろう」

工作名	回数(回)	参加者数(人)
Xmasリース作り	4	84



## ウ 秋の自然環境クイズ

開催日：平成29年9月23日

開催場所：環境と人間のふれあい館

参加者数：135人（入館者数：938人）

## エ 福島潟自然文化祭への参加

福島潟周辺施設及び環境・市民団体などと協力し、五感を使った様々な体験イベント（当館では環境クイズ）を実施しました。

開催日：平成29年9月23日

開催場所：水の駅「ビュー福島潟」、潟来亭、雁晴れ舎、自然学習園の池、菱風荘、環境と人間のふれあい館他

福島潟自然文化祭来場者数：約18,000人



## オ 福島潟フォトコンテスト 入賞作品展

開催期間：平成29年11月4日～11月29日

入館者数：2,224人（期間中）



## (7) 教師用指導資料集等作成事業

学校教育の場において、新潟水俣病の経験と教訓を後世に伝えることにより、人権に対する理解を深めるとともに環境を大切にする意識を育むため、県内の小・中学校に教師用指導資料集や副教材を配付しています。平成29年度は、教育関係者及び新潟市と協力して、小学校児童向け学習資料「現場から学ぶ新潟水俣病～教訓を語り継ぐ～」を作成しました。



## (8) その他の関係事業

### ア 「いのち・愛・人権」阿賀野展

開催期間：平成29年11月29日～12月5日

開催場所：阿賀野市ふれあい会館

主 催：「いのち・愛・人権」阿賀野展実行委員会、  
「いのち・愛・人権」新潟県実行委員会など

### イ 地域の環境学習全体発表会

小・中学校への地域の環境学習支援事業実施校及び水俣病発生地域間交流事業参加校の児童・生徒と教師が学習の成果を発表しました。

開 催 日：平成30年2月21日、2月22日

開催場所：環境と人間のふれあい館

参加者数：18校、186人

新潟市立松浜小学校、南中野山小学校、有明台小学校、鳥屋野小学校、新津第二小学校、坂井輪小学校、亀田東小学校、南浜中学校、根岸小学校、中之口西小学校、阿賀野市立水原小学校、上越市立牧小学校、東本町小学校、高志小学校、吉川小学校、妙高市立斐太北小学校、新井中央小学校、南魚沼市立五十沢小学校



## 3 資料整備促進事業

水俣病に関する資料収集を行い、分散化の抑止と整備保管に努めました。また、主に水環境に関する環境関係書籍やVTRの収集保管を行いました。

(平成30年3月31日現在累計)

水俣病裁判資料等の収集		7,592点	
図書等の整備状況	書 籍	水俣病関係	609冊
		その他（河川環境、環境問題など）	1,506冊
	V T R		356本
	マイクロフィルム「戦後日本公害事件史料集成 坂東克彦史料」		75巻



#### 4 アーカイブ事業

環境と人間のふれあい館では、新潟水俣病に関する記録に取り組んでいます。

平成29年度は、「小・中学生の新潟水俣病学習の記録 [資料映像]」を以下の内容で作成しました。

○新潟県や新潟市が実施する環境学習支援事業等のほか、環境と人間のふれあい館等での水俣病学習、学校・地域での取り組む次の事業の中から先進実践事例を記録。

- ・学校で行う水俣病・環境学習授業、地域連携学習等
- ・環境と人間のふれあい館での学習
- ・環境学習支援事業、現地学習等
- ・その他本事業の趣旨に沿ったもの

成果品は、県内小・中学校及び教育関係機関への配布。また、環境と人間のふれあい館内及び外部会場での上映、貸出を行います。



### III 平成29年度利用実績

#### 1 月別来館者数

月	来館者数(人)			増減 (29-28)	開館日数(日)			1日平均(人)		
	29年度	28年度	27年度		29年度	28年度	27年度	29年度	28年度	27年度
4	3,536	3,588	4,673	▲ 52	26	26	26	136	138	180
5	2,179	2,560	3,395	▲ 381	26	26	27	84	98	126
6	2,580	3,173	3,406	▲ 593	26	26	25	99	122	136
7	3,721	4,917	3,431	▲ 1,196	26	27	27	143	182	127
8	4,332	4,745	4,700	▲ 413	27	26	26	160	183	181
9	3,572	3,927	4,552	▲ 355	26	26	26	137	151	175
10	2,549	3,221	4,445	▲ 672	26	26	27	98	124	165
11	3,194	3,335	5,608	▲ 141	26	26	25	123	128	224
12	1,662	2,007	2,872	▲ 345	23	23	24	72	87	120
1	1,220	1,776	1,912	▲ 556	23	23	24	53	77	80
2	1,008	2,240	2,755	▲ 1,232	24	24	24	42	93	115
3	2,000	2,239	2,845	▲ 239	27	27	27	74	83	105
計	31,553	37,728	44,594	▲ 6,175	306	306	308	103	123	145

開館からの累計 623,348人 (平成30年3月末現在)

#### 2 視聴覚利用数

※映像DVD「新潟水俣病」及びアニメ「新潟水俣病と阿賀野川が教えてくれたもの」の視聴

##### (1) 上映回数及び視聴者数

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学校	上映回数(回)	1	3	6	6	2	9	8	18	7	1	4	7	72
	視聴者数(人)	28	271	203	662	34	419	277	774	240	27	115	226	3,276
団体	上映回数(回)	2		4		16	3	8	1	2			1	37
	視聴者数(人)	45		87		261	45	169	19	40			15	681
一般	上映回数(回)			1	5	22	1	1			1			31
	視聴者数(人)			1	33	207	2	2			2			247
合計	上映回数(回)	3	3	11	11	40	13	17	19	9	2	4	8	140
	視聴者数(人)	73	271	291	695	502	466	448	793	280	29	115	241	4,204

##### (2) 「新潟水俣病」DVDの視聴学校・団体名

###### ア 学校

区分	学校数 (回数)	視聴学校名
小学校	40校 (49回)	河崎小、新津第二小、東豊小、岡方第一小(2)、安田小、阿賀小、五泉小、横越小、浜浦小、中之口西小、豊栄南小(2)、南中野山小、東本町小、水原小(3)、吉川小、鳥屋野小、安野小、亀田東小(2)、住吉小(3)、外ヶ輪小、荒浜小、紫雲寺小、早通小、根岸小、小千谷小(4)、白根小、斐太北小、牧小、小合東小、新井中央小、大面小、沼垂小、中之口東小、藤塚小、五十公小、荒橋小、堀越小、米子小、佐々木小、柿崎小
中学校	6校 (7回)	新潟清心女子中学校、木崎中学校、村上中等教育学校、高志中等教育学校、南浜中学校、新潟明訓中学校(2)
高等学校	3校 (3回)	新潟工業高校、新発田高校、阿賀黎明高校
大学等	8校 (13回)	新潟県立大学国際地域学部、新潟大学(理学部(2)、グローバル教育センター(2)法学部)、新潟医療福祉大学(2)、新潟農業・バイオ専門学校、立教大学法学部、立正大学、尚絅学園大学、上越教育大学

###### イ 団体

団体区分	団体数 (回数)	視聴団体名
教員等 学校関係	19団体 (14回)	磯部小学校教員、東小千谷小、中学校教員、見附市立南中学校教職員、吉田南小、羽生田小学校教職員、中之島小学校教職員、浦佐小学校教職員、柿小学校教員、五泉東小学校教員、田上小学校教職員、堀之内小、堀之内中、宇賀地小学校教員、豊栄南小学校教員、南本町小学校教員、新潟県教育センター、桜が丘小学校教員、新潟県教職員組合
その他団体	23団体 (23回)	能登栄町お茶の間、新潟水俣病被害者の会交流会、横浜と畜場労働組合、新潟県農業団体健康組合、(株)東洋環境分析センター、村松高校PTA、新発田地域振興局外国籍医師等、阿賀町役場職員等、教育共励会OB会(八千代観光)、新発田市諏訪町自治会、上谷みどりの会、南山形地区自治推進委員会、山形市自治推進協議会、イオン白根店チアーズクラブ、巻みどりの会、山形セルトップ、村上人権擁護委員協議会、埼玉県折原地区環境対策協議会、人権を守る榛東の会、紫雲寺健康保健自治会、若宮ダイナミクス、新潟民医連、東葛総合法律事務所

### 3 学校利用実績

学校区分	学校数 (校)	人数 (人)
幼稚園・保育園	1	18
小学校	66	3,241
中学校	8	809
高等学校	5	238
大学・専門学校	18	581
合計	98	4,887

#### [学校内訳]

No.	来館日	曜	所在地	学校名 (学年)	人数	目的
1	4月28日	金	新潟市西区	新潟清心女子中学校2年	28	水俣病の学習
2	5月11日	木	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉学部横山ゼミ3年	13	水俣病の学習
3	5月18日	木	新潟市東区	新潟県立大学国際地域学部2年	155	水俣病の学習
4	5月25日	木	新潟市北区	新潟市立木崎中学校1年	74	水俣病の学習
5	5月31日	水	柏崎市	新潟産業大学	30	水俣病の学習
6	5月31日	水	新潟市西区	新潟大学理学部	42	水俣病の学習
7	6月8日	木	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉学科3年	15	水俣病の学習
8	6月15日	木	阿賀野市	阿賀野市立京ヶ瀬中学校1年	60	水俣病の学習
9	6月16日	金	佐渡市	佐渡市立河崎小学校6年	21	水俣病の学習
10	6月21日	水	新潟市西区	新潟市立坂井輪小学校4年	117	水俣病の学習
11	6月22日	木	新潟市中央区	新潟農業・バイオ専門学校	7	水俣病の学習
12	6月25日	日	新潟市西区	新潟大学グローバル教育センター	8	水俣病の学習
13	6月28日	水	新潟市秋葉区	新潟市立新津第二小学校5年	67	水俣病の学習
14	6月30日	金	新発田市	新発田市立東豊小学校5年	85	水俣病の学習
15	7月5日	水	新潟市北区	新潟市立岡方第一小学校4年	16	水俣病の学習
16	7月6日	木	阿賀野市	阿賀野市立安田小学校4年	91	水俣病の学習
17	7月6日	木	村上市	新潟県立村上中等教育学校1～3年	461	水俣病の学習
18	7月11日	火	新潟市秋葉区	新潟市立阿賀小学校4年	60	水環境の学習
19	7月21日	金	新潟市中央区	新潟市立高志中等教育学校1年	4	水俣病の学習
20	7月27日	木	新潟市西区	新潟県立新潟工業高校工業化学科1年	30	水俣病の学習
21	8月26日	土	新潟市西区	新潟大学グローバル教育センター	24	水俣病の学習
22	8月29日	火	東京都	立教大学法学部尾内ゼミ	10	水俣病の学習
23	9月1日	金	五泉市	五泉市立五泉小学校4年	82	水環境の学習
24	9月7日	木	新潟市江南区	新潟市立横越小学校6年	103	水俣病の学習
25	9月8日	金	新潟市中央区	新潟市立浜浦小学校4年	71	水俣病の学習
26	9月12日	火	新潟市西蒲区	新潟市立中之口西小学校5年	14	水環境の学習
27	9月14日	木	東京都	立正大学堀田ゼミ	13	水俣病の学習
28	9月15日	金	宮城県名取市	尚綱学院大学現代社会学科3・4年	16	水俣病の学習
29	9月26日	火	新潟市北区	新潟市立南浜中学校1年	46	水俣病の学習
30	9月27日	水	新潟市西区	新潟市立五十嵐小学校5年	120	水俣病の学習
31	9月28日	木	新潟市北区	新潟市立豊栄南小学校4年	12	水環境の学習
32	9月29日	金	新潟市東区	新潟市立南中野山小学校4年	62	水俣病の学習
33	10月3日	火	上越市	上越市立東本町小学校5年	64	水俣病の学習

No.	来館日	曜	所在地	学校名(学年)	人数	目的
34	10月4日	水	新発田市	新潟県立新発田高校理数科1年	42	水俣病の学習
35	10月6日	金	新潟市西区	新潟大学理学部	18	水俣病の学習
36	10月13日	金	阿賀野市	阿賀野市立水原小学校5年	35	水俣病の学習
37	10月17日	火	阿賀野市	阿賀野市立水原小学校5年	34	水俣病の学習
38	10月17日	火	新潟市西区	新潟大学人文学部	20	水俣病の学習
39	10月18日	水	長岡市	新潟県立長岡明德高校1年	100	水俣病の学習
40	10月19日	木	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉学部青木ゼミ	15	水俣病の学習
41	10月20日	金	阿賀野市	阿賀野市立水原小学校5年	32	水俣病の学習
42	10月24日	火	新潟市中央区	新潟市立有明台小学校5年	36	水俣病の学習
43	10月24日	火	新発田市	新発田市立七葉小学校5年	36	水俣病の学習
44	10月26日	木	上越市	上越市立吉川小学校5年	37	水俣病の学習
45	10月31日	火	新潟市北区	新潟市立松浜小学校5年	99	水環境の学習
46	11月1日	水	新潟市中央区	新潟市立鳥屋野小学校5年	36	水俣病の学習
47	11月1日	水	阿賀野市	阿賀野市立安野小学校5年	37	水俣病の学習
48	11月2日	木	新潟市江南区	新潟市立亀田東小学校5年	135	水俣病の学習
49	11月2日	木	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉学科	145	水俣病の学習
50	11月7日	火	新発田市	新発田市立住吉小学校5年	32	水俣病の学習
51	11月7日	火	新潟市北区	新潟市立葛塚東小学校6年	109	水俣病の学習
52	11月8日	水	新発田市	新発田市立住吉小学校5年	27	水俣病の学習
53	11月8日	水	新潟市西区	新潟大学法学部栗田ゼミ	14	水俣病の学習
54	11月8日	水	新潟市北区	新潟市立南浜中学校2年	30	水俣病の学習
55	11月9日	木	新発田市	新発田市立住吉小学校5年	32	水俣病の学習
56	11月9日	木	長岡市	長岡工業高等専門学校2年(物質工学科)	43	水俣病の学習
57	11月10日	金	新発田市	新発田市立外ヶ輪小学校5年	77	水俣病の学習
58	11月14日	火	柏崎市	柏崎市立荒浜小学校5年	55	水俣病の学習
59	11月15日	水	新発田市	新発田市立紫雲寺小学校5年	29	水環境の学習
60	11月16日	木	南魚沼市	南魚沼市立塩沢小学校4年	65	水俣病の学習
61	11月16日	木	上越市	上越市立春日新田小学校5年	133	水俣病の学習
62	11月16日	木	新潟市江南区	新潟市立早通小学校4年	38	水環境の学習
63	11月17日	金	新潟市南区	新潟市立根岸小学校6年	29	水俣病の学習
64	11月21日	火	新発田市	新発田市立猿橋小学校5年	116	水俣病の学習
65	11月24日	金	小千谷市	小千谷市立小千谷小学校5年	38	水俣病の学習
66	11月24日	金	小千谷市	小千谷市立小千谷小学校5年	38	水俣病の学習
67	11月24日	金	関川村	関川村立関川小学校5年	46	水俣病の学習
68	11月28日	火	新潟市南区	新潟市立白根小学校5年	82	水俣病の学習
69	11月29日	水	小千谷市	小千谷市立小千谷小学校5年	37	水俣病の学習
70	11月29日	水	小千谷市	小千谷市立小千谷小学校5年	38	水俣病の学習
71	11月30日	木	新発田市	新発田市立菅谷小学校5年	15	水俣病の学習
72	12月1日	金	妙高市	妙高市立斐太北小学校4年	18	水俣病の学習
73	12月5日	火	上越市	上越市立牧小学校4年	9	水俣病の学習
74	12月6日	水	長岡市	長岡市立四郎丸小学校5年	40	水俣病の学習
75	12月6日	水	長岡市	長岡市立四郎丸小学校5年	39	水俣病の学習
76	12月7日	木	新潟市秋葉区	新潟市立小合東小学校5・6年	24	水俣病の学習

No.	来館日	曜	所在地	学校名(学年)	人数	目的
77	12月8日	金	妙高市	妙高市立新井中央小学校5年	66	水俣病の学習
78	12月13日	水	三条市	三条市立大面小学校6年	29	水環境の学習
79	12月17日	日	上越市	上越教育大学山縣先生ゼミ	7	水俣病の学習
80	12月19日	火	新潟市中央区	新潟市立沼垂小学校5年	87	水俣病の学習
81	1月19日	金	三条市	三条市立栄中央小学校5年	34	水俣病の学習
82	1月19日	金	新潟市西区	新潟市立青山小学校5年	54	水俣病の学習
83	1月23日	火	新潟市西蒲区	新潟市立中之口東小学校5年	27	水俣病の学習
84	1月24日	水	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉学科	29	水俣病の学習
85	1月25日	木	新潟市秋葉区	新潟市立小合小学校5年	16	水俣病の学習
86	2月1日	木	新発田市	新発田市立藤塚小学校5年	17	水俣病の学習
87	2月1日	木	新発田市	新発田市立五十公野小学校5年	55	水俣病の学習
88	2月2日	金	新発田市	新発田市立荒橋小学校5年	5	水環境の学習
89	2月27日	火	阿賀野市	阿賀野市立堀越小学校5年	21	水俣病の学習
90	2月28日	水	新発田市	新発田市立米子小学校5年	17	水俣病の学習
91	3月1日	木	新発田市	新発田市立加治川小学校5年	48	水俣病の学習
92	3月2日	金	新潟市北区	新潟市立豊栄南小学校5年	16	水俣病の学習
93	3月6日	火	新発田市	新発田市立佐々木小学校5年	22	水俣病の学習
94	3月8日	木	新潟市江南区	新潟明訓中学校2年	106	水俣病の学習
95	3月9日	金	新発田市	るんびに保育園	18	施設見学
96	3月13日	火	新潟市北区	新潟市立岡方第一小学校5年	15	水俣病の学習
97	3月14日	水	上越市	上越市立柿崎小学校5年	44	水俣病の学習
98	3月15日	木	阿賀町	新潟県立阿賀黎明高校2年	23	水俣病の学習

#### 4 団体利用実績

団体区分		団体数 (団体)	人数 (人)
教育関係団体	小学校教員	16	273
	中学校教員	3	46
	高等学校教員	1	12
	教育委員会等	1	13
	小計	21	344
その他の団体		41	1,044
合 計		62	1,388

#### [団体内訳]

No.	来館日	曜	所在地	団体名	人数 (人)
1	4月7日	金	新潟市南区	能登栄町お茶の間	25
2	4月12日	水	新潟市北区	内島見健康サロン	20
3	4月22日	土	新潟市	新潟水俣病被害者の会交流会	20
4	6月9日	金	横浜市	横浜と畜場労働組合	40
5	6月23日	金	新潟市中央区	新潟県農業団体健康保険組合	28
6	6月23日	金	福岡市	(株)東洋環境分析センター	6
7	6月25日	日	五泉市	県立村松高等学校PTA	13
8	6月28日	水	新潟市江南区	このユビとまれ会	16
9	7月1日	土	新潟県	麻布大学同窓会	50
10	7月8日	土	富山市	イタイイタイ病対策協議会	23
11	7月12日	水	新潟市中央区	にいがた道の研究会	70
12	7月16日	日	四日市市	四日市公害記念講演会	80
13	7月20日	木	新潟市北区	新潟市北区小学校校長会	13
14	7月30日	日	新潟市	新潟市役所昭電現地親子ツアー	80
15	8月1日	火	糸魚川市	糸魚川市立磯部小学校教員	7
16	8月3日	木	新発田市	新発田地域振興局外国籍医師等	2
17	8月4日	金	小千谷市	小千谷市立東小千谷小学校教員	3
18	8月4日	金	小千谷市	小千谷市立東小千谷中学校教員	11
19	8月8日	火	見附市	見附市立南中学校教職員	17
20	8月8日	火	燕市	燕市立吉田南小学校教職員	18
21	8月8日	火	田上町	田上町立羽入田小学校教職員	11
22	8月9日	水	南魚沼市	南魚沼市立中之島小学校教職員	12
23	8月9日	水	南魚沼市	南魚沼市立浦佐小学校教職員	13
24	8月10日	木	阿賀町	阿賀町役場職員等	12
25	8月22日	火	長岡市	長岡市立柿小学校教員	8
26	8月22日	火	五泉市	五泉市立五泉東小学校教員	11
27	8月24日	木	田上町	田上町立田上小学校教職員	17
28	8月25日	金	魚沼市	魚沼市立堀之内小学校教員	18
29	8月25日	金	魚沼市	魚沼市立堀之内中学校教員	18
30	8月25日	金	魚沼市	魚沼市立宇賀地小学校教員	10
31	8月25日	金	新潟市北区	新潟市立豊栄南小学校教員	12
32	8月25日	金	上越市	上越市立南本町小学校教員	16

No.	来館日	曜	所在地	団体名	人数(人)
33	8月29日	火	新潟市中央区	新潟市立桜ヶ丘小学校教員	22
34	8月29日	火	新潟県	新潟県教育センター	12
35	8月31日	木	山形県	教育共励会OB会河北会(八千代観光)	11
36	9月5日	火	新発田市	新発田市諏訪町保健自治会	15
37	9月8日	金	山形県	上谷柏みどりの会	15
38	9月13日	水	山形県	南山形地区自治推進委員会	15
39	9月27日	水	栃木県	栃木県隣保館連絡協議会	7
40	10月3日	火	山形県	山形市自治推進協議会	17
41	10月6日	金	新潟県	新潟県環境対策課環境技術職員研修	7
42	10月7日	土	富山市	四大公害病の語り部講話による伝承会～語り部による伝承会～	40
43	10月9日	月	新潟市北区	菱風荘ノルディックウォーキング一行	10
44	10月9日	月	新潟市南区	イオン白根店チアーズクラブ	12
45	10月11日	水	新潟市西蒲区	巻みどりの会	30
46	10月22日	日	山形県	(株)山形セルトップ	13
47	10月24日	火	村上市	村上人権擁護委員協議会	26
48	10月25日	水	埼玉県	埼玉県寄居町折原地区環境対策協議会	34
49	10月26日	木	群馬県	人権を守る榛東の会(群馬県)	21
50	10月27日	金	新発田市	紫雲寺健康保健自治会	16
51	11月12日	日	加茂市	若宮ダイナミックス	19
52	11月14日	火	十日町市	新潟県浄化槽整備協会十日町支部	5
53	11月18日	土	新潟市中央区	水と土の芸術祭実行委員会	6
54	11月22日	水	聖籠町	小林ひろ子さん団体	4
55	12月5日	火	新潟県	新潟県教職員組合(役員、職員)	22
56	12月16日	土	新潟市	新潟民医連	18
57	12月21日	木	新潟市	新潟歩く会(代表 本田博和)	10
58	12月25日	月	新潟市	新潟市立総合教育センター初任者研修	73
59	1月13日	土	東京都	水俣病経験の普及啓発セミナー「水俣病の経験を引き継ぐために」	80
60	1月20日	土	東京都	アーカイブス学会「新潟水俣病資料館の取組と課題」	85
61	3月1日	木	千葉県	東葛総合法律事務所(松戸市)	15
62	3月10日	土	新潟県	新潟水俣病阿賀野患者会幹事会	28

## 〔参考〕 来館された児童・生徒などの感想

### 語り部さんのお話を聞いて

先日は、語り部として私達にいろいろな事を教えてくださって、ありがとうございました。節子さんのお話で新潟水俣病の見方が変わりました。

私は節子さんのお話を聞いて水俣病の苦しさや悲しさ、みじめさをしりました。水俣病のしょうじょうや節子さんのだんなさんの事、そして水俣病の方へのへん見差別。話を聞いているだけで心がくるしくなりました。でも、節子さんのお話からはげましや支えてくれた人の心の温かさはすごいと思いました。私もこんな人になりたいです。

お話の最後泣きながら話していた時は節子さんは勇気のある人だと思いました。なぜなら節子さんは自分が苦しかった事をもう一度思い出して語りついでいるからです。私も家に帰ったらすぐに家族に教えて話してあげました。節子さん本当にありがとうございました。

妙高市立新井中央小学校5年生（H29.12.8来館）

### 語り部さんのお話を聞いて

先日は、お話を聞かせていただきありがとうございました。

水俣病について知って今、自分が何一つ不自由なく幸せにさせているのは、とても恵まれているということを実感しました。そして水俣病のつらさ、差別などがとてもつらいということが伝わってきました。気がつかないだけで自分も差別をしているかもなので気をつけたいと思いました。

これからは差別や公害病をなくすために、まずは自分ができることをやっていきたいです。これから寒くなってくるのでお体に気を付けてお過ごし下さい。

長岡市立四郎丸小学校5年生（H29.12.6来館）



語り部さんのお話を聞いて （感想文より一部抜粋）

○私は、みんなとちがうような人がいても、ヒソヒソと悪口を言ったり、差別しないようにしようと思いました。

○語り部さんは一番大切なのは、正しい事をちゃんと学ぶことだといっていました。その言葉が心にのこりました。

○このような学習をしたのだから、さ別をしないで、同じ人間なのだから、人を助け、人に助けてもらえばよりよい環境になると思います。そして、同じものどうし協力して生きていけば良いと思います。

○話をきいて、なやみ事があったら友達、親など、一人で解決するのではなく人に相談することが大事だなと思いました。

○私は水俣病が人をかえてしまうことがわかりました。

○とても心に残った言葉がありました。それは、「泣いてもいいけどその後立ち上がれ、泣きっぱなしはダメだ」という言葉でした。30代から今にいたるまでたくさん苦しい思いをしてきているのによくそのような事が言えるなと思いました。ぼくもこんなことじゃ負けてられないなと思いました。

○これからは二度とあつてはいけないことだと思いました。絶対にこのお話を忘れません。

新潟県立環境と人間のふれあい館  
— 新潟水俣病資料館 —

〒950-3324

新潟県新潟市北区前新田字新々囲乙364-7

TEL 025-387-1450 FAX 025-387-1451

ホームページ <http://www.fureaikan.net>

Eメール [fureai@abeam.ocn.ne.jp](mailto:fureai@abeam.ocn.ne.jp)

——— 利用のご案内 ———

- ◆開館時間 9:30 ~ 16:30
- ◆休館日 毎週月曜日（月曜が休日の場合はその翌日）  
年末年始（12月28日～1月4日）  
臨時休館日についてはお問い合わせください。
- ◆入館料 無料
- ◆団体でのご利用の際は、事前にお申し込みください。